

青森県景気ウォッチャー調査特別調査（令和2年7月期）

新型コロナウイルス感染症による県内の景気への影響に関する調査について

1. 概要

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、国内外の社会経済や、本県の地域経済及び県民生活に大きな影響を与えていることを踏まえ、新型コロナウイルス感染症が県内の景気に及ぼす影響について、青森県景気ウォッチャーを対象に特別調査を行った。

2. 調査期間

令和2年7月1日～7月17日 回答率100%

3. 調査事項

設問	回答方法
①新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響に対する判断	5段階（非常に影響があった／どちらかといえば影響があった／どちらとも言えない／どちらかといえば影響がなかった／まったく影響がなかった）
①の理由	自由記述
②新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響に対する判断	5段階（非常に影響がある／どちらかといえば影響がある／どちらとも言えない／どちらかといえば影響がない／まったく影響がない）
②の理由	自由記述

令和2年8月
青森県企画政策部統計分析課

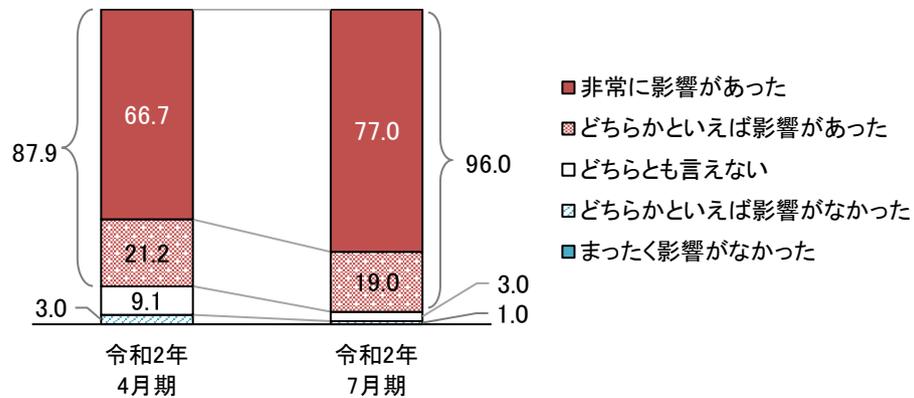
(1) 新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響

① 県全体の動向

県全体をみると、「非常に影響があった」との回答が77.0%と最も多く、「どちらかといえば影響があった」との回答と合わせると96.0%となった。「どちらとも言えない」との回答は3.0%、「どちらかといえば影響がなかった」との回答は1.0%となり、「まったく影響がなかった」との回答はなかった。

前期調査と比べると、「非常に影響があった」「どちらかといえば影響があった」との回答が合わせて8.1ポイント増加した。

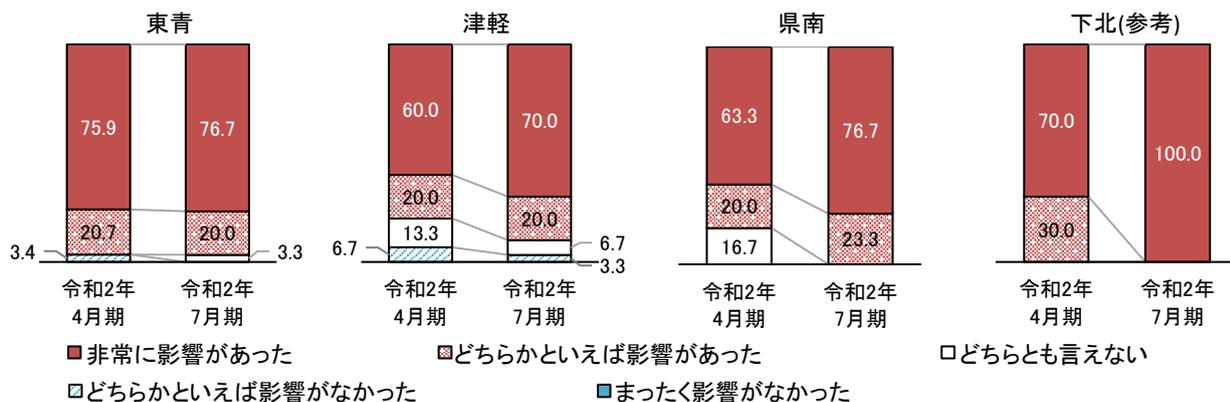
新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響
回答別構成比(県全体)(%)



② 地区別の動向 (※下北地区については、サンプル数が少ないため参考値)

地区別にみると、全地区において「非常に影響があった」との回答が最も多く、県南地区及び下北地区では「どちらかといえば影響があった」との回答と合わせて100.0%となった。

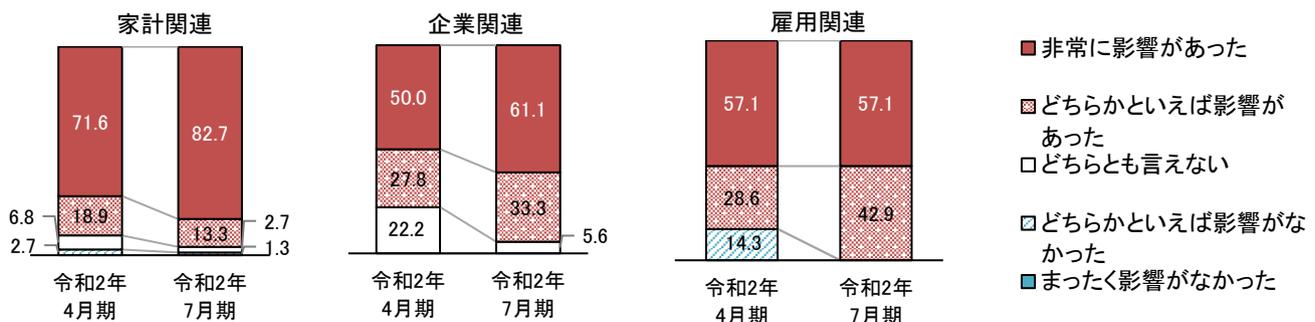
新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響 回答別構成比(地区別)(%)



③ 分野別の動向

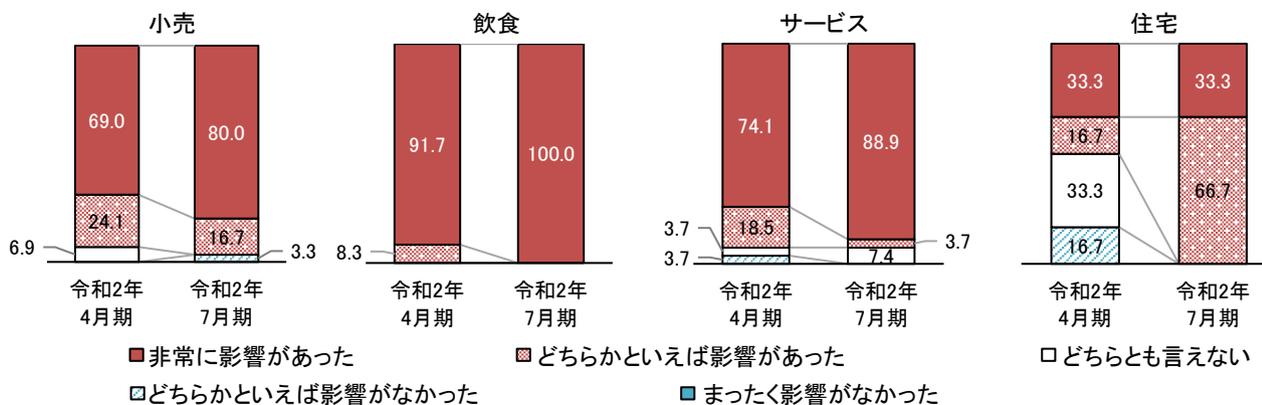
分野別にみると、全分野において「非常に影響があった」との回答が最も多く、雇用関連では「どちらかといえば影響があった」との回答と合わせて100.0%となった。

新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響 回答別構成比(分野別)(%)



家計関連の内訳をみると、小売、飲食及びサービスにおいて「非常に影響があった」との回答が多く、特に飲食では100.0%となった。住宅においては「非常に影響があった」「どちらかといえば影響があった」との回答が合わせて100%となった。

新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響
回答別構成比(家計関連の内訳)(%)



④判断理由

判断理由では、「影響があった」理由として、「物産催事の中止や地域催事の中止による大幅売上減(百貨店=県南)」、「歓送迎会やイベントが中止になっている為、食材の注文がなくなった(食料品製造=東青)」など、イベントや会合の中止による売上、客数の大幅減や、「3月からの団体のお客様が無く、一般のお客様も自粛していた(レストラン=下北)」など、外出等の自粛による経済活動の停滞を挙げる声が多かった。また、「休館の為(観光型ホテル・旅館=津軽)」や、「休業、廃業による広告停止(広告・デザイン=東青)」など、休業等に関する声もあった。

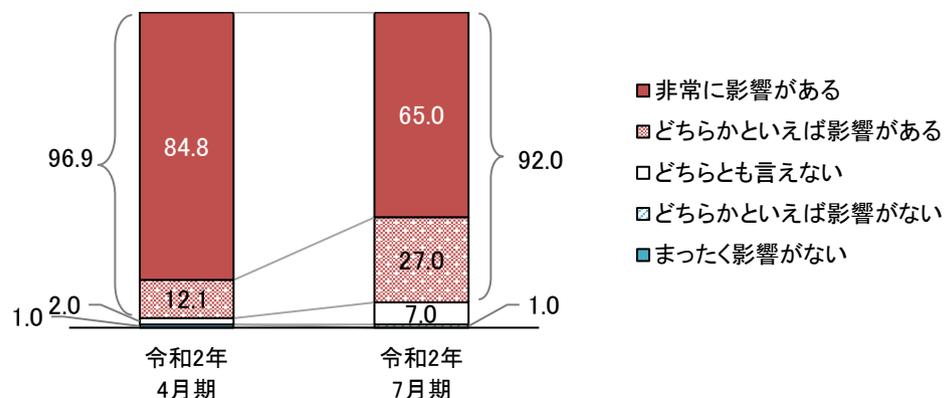
(2) 新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響

① 県全体の動向

県全体をみると、「非常に影響がある」との回答が65.0%と最も多く、「どちらかといえば影響がある」との回答と合わせると92.0%となった。「どちらとも言えない」との回答は7.0%、「どちらかといえば影響がない」との回答は1.0%となり、「まったく影響がない」との回答はなかった。

前期調査と比べると、「非常に影響がある」「どちらかといえば影響がある」との回答が合わせて4.9ポイント減少した。

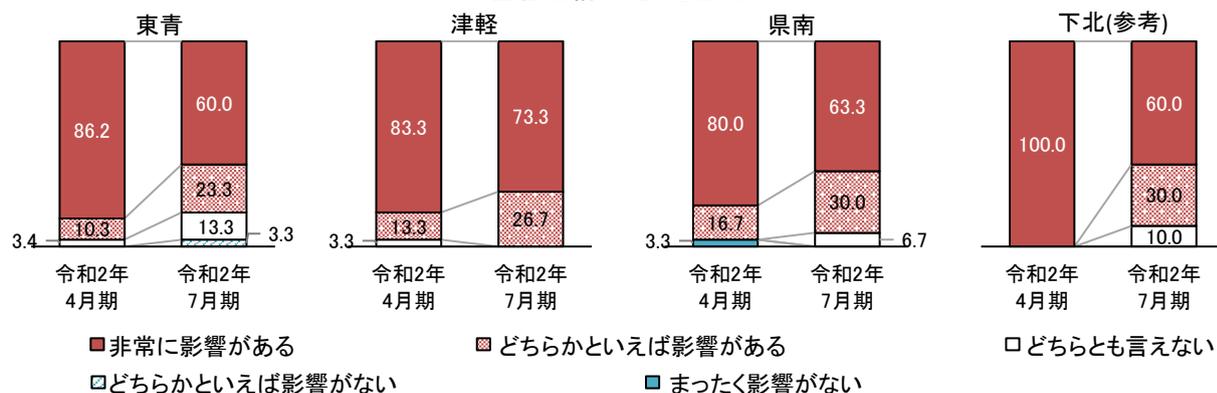
新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(県全体)(%)



② 地区別の動向 (※下北地区については、サンプル数が少ないため参考値)

地区別にみると、全地区において「非常に影響がある」との回答が最も多く、津軽地区では「どちらかといえば影響がある」との回答と合わせて100.0%となった。

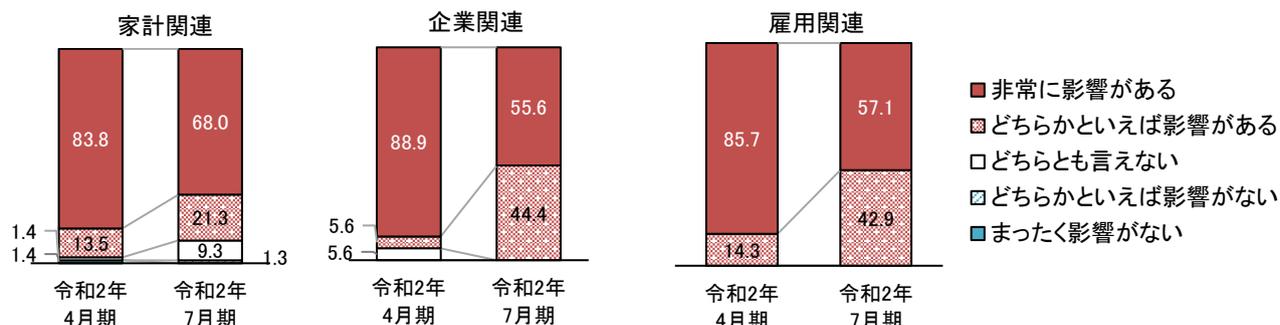
新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(地区別)(%)



③ 分野別の動向

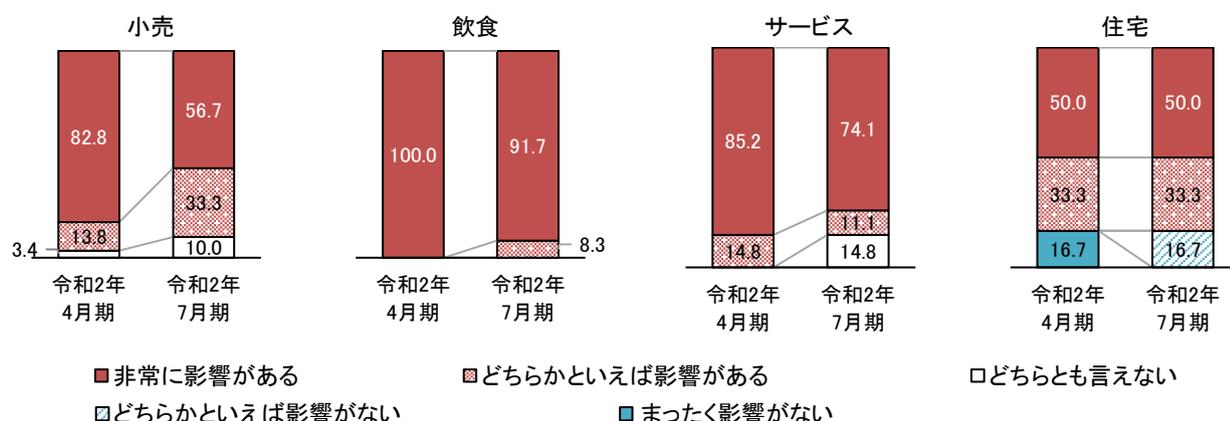
分野別にみると、全分野において「非常に影響がある」との回答が最も多く、企業関連及び雇用関連では「どちらかといえば影響がある」との回答と合わせて100.0%となった。

新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(分野別)(%)



家計関連の内訳をみると、特に飲食において「非常に影響がある」との回答が多く、「どちらかといえば影響がある」との回答と合わせると100.0%となった。

新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(家計関連の内訳)(%)



④判断理由

判断理由では、「影響がある」理由として、「終息していると思えない(観光名所等=東青)」、「第2波、第3波の予想が出ている(美容院=津軽)」など、感染が終息せず再び拡大することへの不安を挙げる声が多く、また、「祭関係がすべて中止で、大打撃である(飲料品製造=県南)」など、イベント等の中止による経済への悪影響を懸念する声も多かった。他には、「ワクチンが開発されるまでは、本当の景気回復はないと思う(建設=県南)」などの声もあった。「どちらとも言えない」理由としては、「現在は拡大傾向にあるがこの先減少になるのか良くわからない(乗用車販売=東青)」など、先行きが不透明な点を挙げる声があった。

(3) 判断理由

① 新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響

先行き	分野	地区	業種	理由
非常に影響があった	家計	東青	コンビニ	家からあまり出ないようにしているお客様が多かった。
			スーパー	客数は減少、客単価上昇により前年比はクリア出来ましたが、お客様の財布の紐はかなり固いと感じます。
			タクシー	ご多聞に漏れず日常生活（観光・ビジネスも含め）で人が動かなければタクシーという業種は死んでしまう部類なので非常に大きな影響があった。特に4月ひと月で見ると対前年比でなんと37%（つまり63%の減）にまで落ち込んでしまった。
			パチンコ	連日のようにメディアを通して新型コロナウイルス感染症の話題ばかりで、人々が必要以上に恐怖心を持って外出を控えているような気がします。
			レストラン	10人以上の団体客、歓送迎会やウェディングがキャンセルになり、損害は大きかった。
			衣料専門店	ついこの前まで市中に観光客の往来があり商店街にとってよい事と喜んでいたのに、ある日から急に途絶え、毎年当たり前に予定していた祭り・イベントも中止。ほとんどの人はびんびんしているのに行動制限、何が何やら…。
			一般飲食店	前年度と比べると店内は8割を持ち帰りできさえるという方法以外、何ができるのか、悩む。
			一般小売店	国外、県外からの入り込みが前年比一ケタでは為す術なし。
			卸売業	夜の業種が休業の為、売上が悪い。
			家電量販店	新型コロナの影響でマスクや室内トレーニング用品など通常売れない商品が好調に売れている。しかし、お客様の収入が増えた訳ではないので、通常であれば他の商品の購入を控える事になると思うのだが、そういった動きも無く通常の消費活動を続けている様に感じる。
			観光型ホテル・旅館	自粛、移動制限、いわゆる3密を避けるための運営変更など、これまでの影響はもちろん多大だが、加えて今後の事業そのものについて見直す必要に迫られている。
			観光名所等	4月から5月の間、全館臨時休館。6月1日からオープンするも、入場者は昨年10%。
			商店街	4月より集客等に影響があり、現状も続いている！特に、「ネブタ祭り」の中止のダメージが多く、希望・期待にも影響している！
			都市型ホテル	拡大リスク回避のための自粛行動による出張者や観光客の減少による宿泊売上の大幅減少。 料飲レストランの利用自粛、会合・宴会の「密」を避ける自粛による料飲部門売上の大幅減少。
			百貨店	客数・売上の大幅な減。 ・入卒・旅行・行楽・母の日といったオケージョン対応がほとんど不可能 ・セレモニーやイベント中止による景品・記念品のキャンセル相次ぐ ・4月末より営業時間短縮、GW期間中は食品売場以外休業 ・取引先社員の派遣中止に伴うショップのクローズが発生 ・物産催事や県外催事の中止 衛生用品関連の購入による経費増。 ・従業員用/お客様用の消毒剤設置箇所増 ・一部売場への飛沫防止パネル設置
旅行代理店	収入がない。			
スナック	多少なりと、期待したいと思っておりますが無理でしょう！！維持していけるかどうか見当が付きません。			

先行き	分野	地区	業種	理由
非常に影響があった	家計	津軽	レストラン	①さくらまつりやねふた祭りの中止により観光客が来ない。②緊急事態宣言の発令により、ビジネスのお客様も出張ができなくなった。③学生のスポーツ大会中止により週末の学生客がキャンセル。
			衣料専門店	結婚式、会合、入学式の中止でスーツ売上が不振。
			一般小売店	3月は前年比60%台、4月80%台、5月70%台と非常に落ち込んでいる。
			観光型ホテル・旅館	休館の為。
			観光名所等	すべての活動停止。
			商店街	コロナ問題により、来街者がかなり減った。また、中止となるイベントが多いなど色んな悪循環が重なり、店舗の売上は減り商店街の賑わいや活性が落ち込んでいる。
			乗用車販売	特に新車の販売が低迷している。
			都市型ホテル	宿泊、飲食、宴会を主体とする当業種は最も早く影響を受け、回復は最も遅いと考えられる。
			旅行代理店	旅行業の売り上げが前年比△99.5%の月が3月～6月まで続いていて、今後も良くなる可能性が無く、厳しい状態がいつまで続くのか不安。
			コンビニ	イベントなどの中止や試合等の行事予定がすべてなくなったのが原因です。
			パチンコ	不要不急の業種なので。
			設計事務所	物件によっては打合わせや出張が不可能になる業務も多い。
	県南	スナック	1カ月休んだ。お客様も会社から呑みをとめられている。	
		タクシー	何をしても「コロナ」がついて廻って、我々タクシー業界も休業を強いられ、大変なことになっている。	
		パチンコ	お客様・売上の減少。	
		レストラン	客足減少。	
		衣料専門店	入店客数減少。不要不急と認識されている商品群（アパレル関連）は長期低迷。	
		一般飲食店	飲食は特に自粛、自粛でどうしようにも対応できない。テイクアウトもあるが職種で難しい面もある。	
		商店街	通行量、売上ともに激減した。特に飲食業は厳しいと思われる。	
		卸売業	飲食店に配達をしておりますが注文の電話が鳴らないため、仕事がない状態が4ヶ月続いております。こちらも大変ですが飲食店のことを考えると、何か役にたてることのないものかと考えます。	
		住宅建設販売	コロナウイルスの影響でお客様が散歩なくなり、展示会とかの来場もほとんどなかった。	
		百貨店	物産催事の中止や地域催事の中止による大幅売上減。	
旅行代理店	旅行業が不要不急の業種にされ、社会的な攻撃の対象にされたような気がする。もっとマスク、行政は冷静な対応と世論の形成に勤めてもらいたい。			
ガソリンスタンド	緊急事態宣言、移動自粛の要請により、取扱商品の大幅な販売の減少。休業要請の業種ではないことから、従業員へのマスクの支給、消毒液の確保に困難を極めた。			

先行き	分野	地区	業種	理由	
非常に影響があった	家計	県南	一般小売店	4月、5月と30~40%の売上ダウンで家賃、人件費、支払いと過去に経験したことのない苦勞をした。この度のマイナスを埋めるには何年もかかる。いや、これからのマーケットを考えれば経営継続第一とすれば大きな転換をしなければならないと思った。	
			美容院	2月からはじまり、3月、特に4月は自粛期間だったせいか客数、売上げ共に半分になり、二次三次を恐れて本店へ移転合併しました。	
		下北	コンビニ	人出が少ない。必要なものだけを買う。緊急事態宣言解除と特別定額給付金の支給があったので少し人出が戻ってきた感じはあるが、特に夕方以降不要不急の外出はしていない感じを受ける。	
			スナック	団体のお客様がまったく無いですし、出張の方も居ませんので、売上は、ものすごく減少です。	
			タクシー	観光客が来ない。	
			レストラン	3月からの団体のお客様が無く、一般のお客様も自粛していた為。	
			一般飲食店	売上げが激減して大変です。	
			都市型ホテル	3月の歓送迎会や謝恩会のキャンセルから始まり、4・5月の結婚式もすべて延期かキャンセル。宿泊も移動規制や自粛の為ほぼキャンセル。売上も前年比30%台です。	
			ガソリンスタンド	ガソリンスタンドはガソリンと軽油はピーク時は3割程減りましたが、在宅する人が多かったせいか灯油が好調でした。飲食店、宿泊業は散々たる様子でした。	
			スーパー	スーパーは総じてコロナの影響でうちで過ごす時間が増え、お客様の買い上げ金額が増えて好調だった。	
	一般小売店	イベントの中止、自粛、店舗の休業等、地域全体の経済が止まった感じです。			
	企業	東青	経営コンサルタント	多くの業種で影響が大きかった。一見影響がないと思われる医療関係でも感染を恐れ来院せず電話による薬の郵送依頼が見られるなど影響が出てきている。建設関連等は現在のところ影響が少ない。	
			広告・デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント中止による受注ゼロ。 ・新型コロナウイルス感染リスク軽減のため、集客につながるような広告を自粛している。(生活者向け、観光客向け共に) ・メーカーで車の生産が止まっているため、販売する車が無いので広告も出さない。 ・休業、廃業による広告停止。 	
			食料品製造	歓送迎会やイベントが中止になっている為、食材の注文がなくなった。	
		津軽	経営コンサルタント	影響を受ける業種と受けない業種の2極化に分かれた。影響を大きく受けた業種は、店舗自体が新型コロナウイルス感染症の影響で閉店を余儀なくされた事業所、観光業や冠婚葬祭が3月時点で7月の予約までほぼキャンセルとなり開店休業状態になった事業所がもっとも大きく影響を受けていた。その他、長距離輸送の運送業等も遅れて5月頃から受注が減ってきている。これらの業種に関しては、雇用調整助成金の特例給付が9月まで延長されたので、これを使って従業員を休業させつつ休業手当を支払って雇用の維持を保っている事業が多い。一昨年から売上が半分以下に下がったことによる持続化給付金を受けて資金繰りをつなげている事業所も多い。	
			県南	飲料品製造	様々な団体の会合の自粛により、ホテルなど宴会場での懇親会が無くなり、また、飲食店などでの飲酒をとまなう外食も無くなり、商品の動きがピタリと止まった。
				広告・デザイン	広告業者は、イベント中止により、当面の仕事は、(予定していたもの等)なくなりました。制限解除となっても、中止が決定したイベントから仕事は発生しません。世の中、飲食店や観光、ホテル等にばかり目が向いていますが、我々は、お客様が徐々にもどって来るということではなく、イベント中止の時点で0になったわけです。

先行き	分野	地区	業種	理由	
非常に影響があった	企業	県南	経営コンサルタント	コロナウイルスによる自粛生活で、経済の動きが止まったようです。人の移動は経済にとっていかに重要なファクターであるかが思い知らされました。	
			建設	3密対策により人の動きが止まり、飲食業界をはじめ、観光業、ホテル業、タクシー業界など連鎖的な影響があった。特に個人経営のお店は、店をたたんだりするところも多くなり、今後もどこまで耐えられるかの体力勝負となっている。	
		下北	食料品製造	とにかく人が動かないから、物が動かない。	
	雇用	東青	新聞社求人広告	企業活動の縮小、イベント、催事の中止、飲食店等の営業自粛、移動の制限など、経済活動全般の縮小。	
		津軽	新聞社求人広告	新型コロナによる自粛や休業などで広告の企画や特集が組めず売り上げが上がらない。キャンセルも相当数あった。	
		県南	新聞社求人広告	広告が前年比から半減した。イベントも軒並み中止となりイベント収入もなくなった。	
どちらかといえば影響があった	家計	東青	乗用車販売	人の動きが鈍く物の動きも悪くなると思われる。	
			住宅建設販売	住宅設備機器の納期の遅れがあったため。2～3月が例年より落ち込んだため。	
			設計事務所	日々の行動範囲が制約されたことは多事に大きなマイナス影響が伴った。	
		津軽	家電量販店	空気清浄機をはじめ除菌に関係した商品の需要が多かった。	
			住宅建設販売	建築意識はあるが、建設費用全体の投資を抑える傾向が高い。	
		県南	コンビニ	夜間の客数減少。	
			家電量販店	影響は有り一旦客数・売上とも大きくダウンしたが、特別給付金が届き出してからは客数も売上も大きく前年を上回っているがこの後大きく下がると思われる。	
			観光名所等	県外からのお客様が少なくなったように思われる。	
			スーパー	職種的に、特需が見られた。	
	設計事務所		民間企業からの仕事が少ない。		
	企業	東青	建設	物品の納期が遅れた事（中国産）。売上げに関しては秋以降影響が出ると想定しています。	
			津軽	建設	不要不急の県外への移動は、いつまで続ければよいか。気楽に「GO TO～」をしたいが、躊躇してしまう。マスクは以前に比べて店頭に見られるようになったが、消毒類がいまだにない。
				食料品製造	学校給食のキャンセルや、ホテル、飲食業の自粛。
				電気機械製造	航空輸送費が高騰しているため。
		県南	紙・パルプ製造	人の移動、物流の動きの制限により消費量が低下。	
電気機械製造			自動車関連の仕事は大幅に少なくなっている。医療機器向けの仕事が入ったが減少分を補うほどではない。		
雇用		東青	人材派遣	商品入荷の遅れや、業務停止が増えている。業務量が明らかに減ってきている。	
どちらとも言えない	家計	東青	美容院	どちらとも言えないと言ったが、お客様の（来店までの）期間が長くなっているのは、たしかなことです。	
	企業	津軽	広告・デザイン	4～6月の3カ月間は昨年と比較し売上額の増減はなかったの	

② 新型コロナウイルス感染症による今後の景気への影響

先行き	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	家計	東青	スーパー	従業員に感染者が出ると、営業できなくなる不安があります。感染予防対策はしっかりやっていきたい。
			スナック	今年の青森市は期待の行事もなくどうなる事でしょう？
			タクシー	ねぶた祭りの恩恵を前提としていた各種様々な業種の業績ダウンは目に見えているし、そのことが原因となって息切れ倒産や廃業が加速することが懸念される。そうなれば悪いスパイラルが発生してしまい、巻き添えを食らう可能性も否定できない。自社も含めてとても心配だ。
			パチンコ	万が一コロナウイルスに感染しても生命の危機を感じない治療法が確立されるまで、用心して外出を手控えると思います。
			衣料専門店	第二波、第三波がと言われ報道から危機が配信されていると景気の良い話はどこからも聞こえないし想像できません。自己責任で行動するも肝心の薬が出来ない事には何とも…。
			一般飲食店	今年は宴会などもうないかも知れない。どうなるのだろう。何ができるのだろう。毎月、コロナの数が発表されるたび、やめろと思う。
			一般小売店	感染拡大沈静化の気配がみえない上、8月のねぶた祭を筆頭に夏～秋の観光需要が全く見込めない。むしろこれまでよりこれからが正念場。影響は甚大で計り知れない。
			観光型ホテル・旅館	GO TOキャンペーンの開始スケジュール遅れも大変大きな影響があり、業況回復のペースはさらに遅れると予想される為。他県の知事が県職員に対し地元での会食を職員自ら促すような発言があったが、当県でもそんなメッセージを発して頂けないだろうか。少しでも地元経済の回復を早めるよう全県での気運を高めて欲しい。
			観光名所等	終息していると思えない。
			商店街	4月より集客等に影響が有り、現状も続いていて、特に、「ネブタ祭り」の中止のダメージが多く、希望・期待にも影響している等の理由で、今後は現状より、悪い影響が続くと思われる！
	都市型ホテル	主要客である観光客とビジネス客について <ul style="list-style-type: none"> ・企業による出張自粛の解除がまだ万全ではない ・ビジネスによる移手段（JRやエア）がコロナ前に戻っていない ・集団で移動する観光グループに高齢者が多く、集客にはまだ苦戦すると思われる ・学校関係（学生）の利用（スポーツ・修学旅行等）が戻るには時間がかかる ・コンサートスタッフの利用減 ・海外インバウンドのエア運休による大幅減 ・不要不急と思われるイベントや宴会の自粛継続 ・ワクチンの開発等による根本的な解決まで期間を要する 		
	旅行代理店	感染者が増え、先が見えない。		
	津軽	コンビニ	県内に感染者が出てくれば、また人出が無くなり全ての売上が減るのは間違いなく売上は減少します。	
		レストラン	①さくらまつりやねぶた祭りの中止により観光客が来ない。②緊急事態宣言の発令により、ビジネスのお客様も出張ができなくなった。③学生のスポーツ大会中止により週末の学生客がキャンセル。	
衣料専門店		特効薬がないから。		

先行き	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	家計	津軽	一般小売店	6月が5%還元最終月で少し盛り返したが、7月からは還元がなくなり、第2波の始まりのような増え方であり、大変な悪影響があるのではないかと心配である。
			観光型ホテル・旅館	インバウンドの動きがまったくくない。
			観光名所等	見通しが不明。
			商店街	給付金、補助金、助成金など国県市町村で色々と頑張っただけで対応してくれているが、どこまで景気回復に繋がるかが全く見えてこないのが現状である為、かなり不安である。
			乗用車販売	先行き不透明。
			パチンコ	ワクチンが出るまでは続くと思う。
			設計事務所	コロナが少し収束したとしても職種によっては現在の自粛等の対応を緩めることが出来ないと思う。(老人ホーム等)
			都市型ホテル	感染第2波が本格化しなくとも長期にわたり影響するが、第2波が長期化・本格化すれば持ちこたえられない。
			美容院	第2波、第3波の予想が出ている。
			旅行代理店	旅行業の売り上げが前年比△99.5%の月が3月～6月まで続いていて、今後も良くなる可能性が無く、厳しい状態がいつまで続くのか不安。
			家電量販店	難局を乗り越えようと、お弁当、お惣菜等のテイクアウトや宅配を始めるなど、頑張っている。小売業はじめ各分野、いろいろな策で頑張っている。しかしながら感染者数がいまだかつて収まらない現実、世界経済への影響も多角的に多くの産業分野へ時間をかけて影響が進むような気がしてならない。治る病＝治療薬・ワクチンの開発時期とリンクして景気を刺激してゆくとされるが、どのような収まりを見せるのか？今のところその時期は誰も解らない。解らないことは不安材料としての意味を持つ。
	県南	ガソリンスタンド		終息した訳ではない中で、移動自粛が解除されたことに伴う、感染の全国的な広がりへの心配があり、一方で経済活動を活性化させていかなければならないというジレンマがあります。今後、ねぶた夏祭り等中止であることから、大きな影響があるものと思います。
			スナック	また（感染者の）人数が増えれば、また休まなければならないかも…。
			タクシー	一旦解除になって、よかったようには見えるけれども、今度は大都会から戻って来る人達を警戒して、非常に敏感になっている。地元だけの仕事では景気は良くならないだろうし、皆さん頭をかかえている。
			パチンコ	良くも悪くも新型コロナの動き次第で、状況は一変する。
			レストラン	1人でも（感染者が）出たら終り。飲食業はムリ。
			衣料専門店	コロナ禍について、感染防止対策はあっても、営業対策は無い為。人が集まることを前提とする今迄の営業対策の否定及び共存に対する営業対策が打ち出せない。
			一般飲食店	コロナのワクチンがいつ出来るかが景気にもどうなるか因であろう。
			卸売業	やはり人の往来があることに関して、経済を回さなければいけないけれども、それと自分たちが置かれている立場は別で、他県又は会社関係以外の方が来社されるのは抵抗があり、来社されたいとお電話を頂いてもお断りすることもある。
商店街	拡大が収まるどころか、更に広がる可能性が高いと感じるから。			

先行き	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	家計	県南	住宅建設販売	また東北エリアでコロナの感染がふえてくるとお客が外出しなくなる。更に、青森では県内での感染はなかったが、マスコミで東京エリアが増えてくる（報道がある）と、青森も外出しなくなる。
			設計事務所	3ヵ月先も新型コロナウイルスが終息していないと思われる為。
		下北	レストラン	まだまだコロナ自体が無くなった訳では無いので、今後も続くと思う。
			一般飲食店	3密になられないので宴会はないし、とにかくお昼は入って来るようにはなってきましたがそれでも以前とはくらべものにならない程です。
			一般小売店	報道でコロナ新規発生等ニュースが出る度、外出は減ると思います。終息するまで、今まで通りには戻らないと思います。
			都市型ホテル	東京都内の感染者が、また増加傾向にあり、この後夏休み、お盆の帰省時期になり、まだ暫くは落ち着かないでしょう。
	企業	東青	経営コンサルタント	予想される第2波への対応がどうなるか？不安である。本県にとって夏祭りの中止は影響が多くの業種に及ぶものと思われる。春の昇給についても影響が大きくなったものと見られ、夏のボーナスの見通しは例年になく苦しいと思われる。弱いところはリストラを考えざるを得ないであろう。
			広告・デザイン	ワクチン、治療薬が出来るまでは、第2波、第3波の懸念がある以上、大きく変わらない。
		津軽	広告・デザイン	工事に対する見積り依頼件数が減少しており、工事見込みを同じく減少している。業種を問わず、各事業者は今後出費を抑え、様子を探る状況が続くのではないかと。
		県南	飲料品製造	現在、少しずつ夜の街にも人が出はじめたり、会合も再開しはじめていますが、感染の第2波に対して敏感になっている。しばらくはこの状況が続く事は確実である。祭関係がすべて中止で、これも大打撃である。
経営コンサルタント			緊急事態宣言解除後は、人の流入、店舗の再開など少しずつ経済は元に戻っていくでしょう。ただ、今年の青森県の夏祭りの中止は非常に痛いですね。	
建設			県をまたぐ移動が解除となり、これから感染者多発都道府県からの往来が多くなるお盆シーズンの8月頃から本格的な第2波が発生するのではと懸念される。ワクチンが開発されるまでは、本当の景気回復はないと思う。	
広告・デザイン			広告業者は、イベント中止により、当面の仕事は、（予定していたもの等）なくなりました。制限解除となっても、中止が決定したイベントから仕事は発生しません。世の中、飲食店や観光、ホテル等にばかり目が向いていますが、我々は、お客様が徐々にもどって来るということではなく、イベント中止の時点で0になったわけです。本当に行政として、力を貸してくれないものですか？	
下北		食料品製造	7月～8月一番の繁忙期に、祭りが無い。イベントが無い。お盆の帰省客も多く見込めない。	
雇用		東青	新聞社求人広告	感染が再び拡大した場合、再度、経済活動縮小などの悪影響が生じた場合は大きく影響が出る。
		津軽	新聞社求人広告	7月に入って東京都など首都圏で新型コロナ感染者が増加に転じ、地方への拡散、ないし感染の第2波、第3波が懸念される状況において、景気に影響はないはずがない。夏休みや秋の行楽シーズン、家族での外出、飲食の機会なども前年に比べて大幅に減るのではないかと。
どちらかといえば影響がある	家計	東青	コンビニ	県内だけではなく全国的にコロナがおさまらないとお客が増えていかないと考えます。
		レストラン	まだまだお客様が、コロナに対して、半信半疑なのでは？外食したい、けど…他県からのお客と隣合わせだったら…と言った意見が多く聞きました。半面、青森エール飯で、多くのお客様から、お弁当、オードブルの注文をいただき、感謝しております。	

先行き	分野	地区	業種	理由
どちらかといえ ば影響がある	家計	東青	家電量販店	ホテルや飲食店など、売上が悪化している業種の影響が出てくると思われる。また、今年はねぶた祭りが中止となり、関連した売上が0となる事からも景気は悪化すると判断します。
			設計事務所	収束条件が整わなければ当分の間大きな負担が伴う。
		津軽	住宅建設販売	ほぼこの影響は、少なくとも、R2年（今年いっぱい）は、続くと思う。客の意識は簡単には、払拭しきれない。
		県南	コンビニ	客数減少。
			スーパー	飲食業の廃業、仕入減、帰省の見通しが不透明であり、読めない部分もあるが、前年までと同じということはないだろう。
			家電量販店	給付金で先にお金が入った分で購入が少し早まっただけで、この後大きくダウンすることが予想される。
			百貨店	全国的に感染者が増加という報道により、外出の自粛を誘い消費の縮小にまた向かう可能性が高くなっている。
			一般小売店	コロナウイルスの影響はゼロにはならないので必ずやマイナスの動きは出るだろう。今回の影響で個人の収入にマイナスのほとんど出なかった人々（公務員等）もいるので、前を向いて仕事をすべきだと思う。
		下北	美容院	失業者、廃業者などこれから増えると心配していて、消費がかなり落ちるのではないかと思います。
			ガソリンスタンド	3ヶ月後、例年に近い状況になっていれば良いのですが…。
	コンビニ		テレビ等で報道されている、第2波、第3波への不安はあるよう。自粛ムードは消えないのでは。	
	企業	東青	建設	大型の設備投資はされないでしょう（お金を使わない）。
			津軽	飲料品製造
		経営コンサルタント		青森県では、今一旦落ち着いているように見える新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響次第という部分が大きく、先行きを楽観視は出来ない。例えば、今回影響を受けなかった店舗や、特に個人開業医等では1人の新型コロナウイルス感染症の患者の受診で2週間閉院しなければならない不安とずっと隣り合わせにいることになる。
建設			3カ月前の秋頃、コロナの第2波がくるのではないかと懸念をいなく。飲食業界等の皆さんに、コロナウイルスが一日も早く終息する事を願う。	
食料品製造			ワクチンがまだ開発中なので自由な行き来ができない。	
県南		電気機械製造	長引くようであれば確実に景気が冷え込みスマートフォンの販売も落ち込む可能性があるため。	
		電気機械製造	人の移動にまだ抵抗があり、国外への移動は規制されているので、今後新しい案件が進まないなど影響は大きくなると思われる。	
雇用	東青	人材派遣	東京の動き（景気）に大きく左右されるため。	
	県南	新聞社求人広告	完全に収束しない限り影響は出続けると思う。	
どちらとも言 えない	家計	東青	乗用車販売	現在は拡大傾向にあるがこの先減少になるのか良くわからない。不明。
			美容院	オシャレとして美容業もあるのですが、そのオシャレをする、キレイにするという意識が変わりつつあるのではないのでしょうか。
		百貨店	現時点のように一時的に収束はしても、ワクチン開発等終息の兆しが見えない事にはなんとも言えない。	
	県南	旅行代理店	青森県はコロナとは違う動きのような気がしますね。	

先行き	分野	地区	業種	理由
どちらとも言えない	家計	県南	観光名所等	先行きが見えないため。
		下北	スーパー	青森県は最近感染者0人と言うことでほぼ普段に戻りつつあるが、お盆等の帰省者・観光客が減少すると思われるので今後は厳しくなると予想される。
どちらかといえば影響がない	家計	東青	住宅建設販売	2～3月落ち込んだ分、5月以降活況となっているため。イベント、集客、ネット集客等増加傾向である。